



## 定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

生育は少雪により例年より早まる予想です。  
 病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

### 病害虫防除

#### ◎発芽前の薬剤散布

散布日 月 日

散布量 ℓ

散布時期	発芽前（3月中下旬～）	
散布薬剤	水	90ℓ 当たり
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml
	石灰硫黄合剤	10ℓ（発芽前、-）
対象病害虫	（黒星病）、越冬病害虫 *カイガラムシ等	
散布量	10a 当たり：300ℓ	
注意事項	①石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。 ②【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル50倍でも良い。	

#### （特別防除）カイガラムシ対策

塗布日： 月 日

防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤（前日 塗布は1回、散布は3回以内）
防除方法	① 地際部から第一主枝の間の主幹を30cm程度、粗皮を削る ② 水：薬剤＝1：1（2倍）の割合で混合する ③ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける  目安：若木は20ml程度、 幹の太い樹（直径20cm以上）は40ml程度

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次回発行予定

4月17日